

第5回ハイヅカ湖地域ビジョン分科会のとりまとめ

開催概要

日 時：平成21年2月10日(日) 19:00～21:00(合同)

主な議事： 改めて、ハイヅカ湖地域ビジョンとは？
ハイヅカ湖地域ビジョン第1版(原案)について
取り組みメニューの詳細について

主 催：ハイヅカ湖地域ビジョン事務局

参加者数：15名

開催の様子

はじめに、今回の開催目的、当日の流れについて、事務局より説明がありました。続いて、「ハイヅカ湖地域ビジョン第1版(原案)」について、ページを区切りながら見方の説明を行い、前半部の内容の了解を得ました。各分科会に分かれた後は、それぞれ第4回分科会時に再構築した取り組みメニューについて改めて意見交換を行い、メニューを確定しました。さらに、各メニューの実施スケジュールや実施主体、レビュー(見直し)時期などの詳細を詰めていきました。

今回の第5回分科会を以ってビジョンについての合同の話し合いは一区切りとなるため、事務局より、今後とも、主体的に、積極的にビジョンを推進して欲しいと、地域の方々にご挨拶をし、締め括りとしました。



意見交換の概要

【第1・4分科会】

取り組みメニューについて

- ・「大谷植物園を活用したイベント・取り組みの実施」について、“大谷植物園”という表記だと範囲が広すぎる。重点的に取り組みたい箇所は今ガードレールのデザインペイントを実施している箇所、大谷川およびその山であること、より実践したいのは、大谷の貴重な環境を活かした昔の暮らしぶりを遊び、学ぶことや、(特に子供たちへの)体験活動等であるので、「大谷の昔を楽しめる、学べる環境づくり」に修正する。
- ・大谷は豊富な山野草が取れるし、川があり魚もいる。山と水辺の環境が隣り合い、様々な生き物も見られる。昔の集落の面影が残る地域であり、思い入れも強い。菖蒲や蓮、果樹、エノキ等を植え、せせらぎを整備した歴史がある。そして、電気や水道のなかった先人の暮らしぶりを学べる多くの条件が揃っている。大谷は“エコ”のもう一歩先の未来を考えられる貴重な場所。そういった事に関心がある人たちを集め、まずは現場を体感しながら語らせる東屋を建てたい。田んぼや水田を整備したり、家畜を飼ったり、山菜採り、子どもたちと冒険、俳諧などのイベントを行っていききたい。
- ・「モミジ山の維持管理」は誤解。これは大谷の山を指して言ったもので、普通“モミジ山”と言って地域の人が思い浮かべるのは3千本の植樹をした方。は に組み込む。
- ・「エコトイレの設置及びデザイン提案と周辺の整備」については、地域の多くの人が必要と思っているが、第3分科会の「抱きしめて笑湖ハイツカ」でも当然必要になるだろう。第3分科会の に協力するので、第1・4分科会の取り組みとしては削除してよい。
- ・「湖面を鑑賞するための眺望点づくり」及び「湖畔の散策を楽しむための植樹・花植・草刈」については、自分たちでも実施していくが、外からの人を呼び込みたい。維持管理を兼ねたハイツカ湖周辺の土地の使用権を条件付きで提供し、例えば、桜を植えてもらう。自分たちの場所となれば愛着が湧き、きれいにしてくれると思う。どっと人が押し寄せてほしいわけではなく、じっくり、訪れてくれる人と交流を深めて良い関係を築きたい。 と は「外から人を呼び込むための仕掛けづくり」とする。

主な実施主体・支援・参加について

- ・「大谷の昔を楽しめる、学べる環境づくり」の広域的な有志の項を にする。
- ・「外から人を呼び込むための仕掛けづくり」のダム守の項を にする。

実施スケジュールについて

- ・「大谷の昔を楽しめる、学べる環境づくり」はH21年度から動き出す。
- ・「外から人を呼び込むための仕掛けづくり」については、まず大谷の取り組みに重点を置きたい。

【第3分科会】

取り組みメニューについて

- ・「 エコトイレの設置提案・維持管理方法についての話し合いを通じた地域活性化」
 - ・3つ目の取り組みとして「エコトイレの設置」を具体的に進めたい。
 - ・第1・4、第5と協力して、横断的な組織を作り、役割分担して進める。
- ・「抱きしめて笑湖ハイツカ」と他分科会の取り組みとのジョイント
 - ・ジョイントすることで、お互い参加者数を増やす。
 - ・参加者の目的や楽しみが増える。
 - 「老若男女・万人のための健康スポーツ企画」(第5分科会)
 - ・イベント当日に、参加者それぞれに手をつなぐ位置までウォーキングしてもらう。
 - 「ウェットランド笑湖楽校」(第6分科会)
 - ・イベント当日に、笑湖楽校を開催。笑湖楽校の参加者にウェットランド周辺で手をつないでもらう。

主な実施主体・支援・参加について

- ・「 エコトイレの設置提案・維持管理方法についての話し合いを通じた地域活性化」の主な実施主体・支援・参加は、「抱きしめて笑湖ハイツカ」と同じでよい。

実施スケジュールについて

- ・「抱きしめて笑湖ハイツカ」と「空心菜の特産化に向けた取り組みの推進」の実実施スケジュール(p21)ともに了承。
- ・実施スケジュールは、平成22年5月4日の「抱きしめて」当日までに設置完了を目指したいので、「抱きしめて笑湖ハイツカ」と同じでよい。具体的には、設置場所決め、管理主体・管理方法の検討、トイレそのものの研究・検討は平成21年度中に実施する。

【第5分科会】

取り組みメニューについて

- ・「情報BOXの設置」
 - 具体的なBOXを設置するという以前に、現行のハイツカ湖地域ビジョンWEBサイトの情報更新や活用を優先して考えるべき。また、第5分科会独自で実施するのではなく、全分科会共通での取り組みとしたい。
- ・「パークゴルフ・グラウンドゴルフの促進」
 - 現在の利用状況から見ると、各自治会単位で取り組みは行われているので、第5分科会としては他の企画イベント(例：ウォーキング大会等)時に、利用促進のための各ゴルフ場の紹介チラシを配るといった協力を行いたい。
- ・「老若男女・万人のための健康スポーツ企画(車椅子ウォーキング・(電動カー)ハイキング・マラソン・ウォーキングなど)」のうち、
 - ・車椅子ウォーキングは、勾配が多いハイツカエリアでの実施は現実的でないので削除する。
 - ・【その他、意見・アイディア】部分に掲載されている「季節毎のウォーキング(花・木・葉・観鳥の時期)」は、作成したマップを活用して【重点的な取り組み】の中で実施する。

- ・マラソンは、既に「健康マラソン」という名称で三良坂では実施されているが、安田や総領はあまり関係ないという感じなので、合同でできるようなルートを考えてほか他地区でも同様の催しを行うなどを考える必要がある。
- ・(電動カー)ハイキングの代わりに、「貸自転車」の設置提案を行いたい。湖畔の森へ提案協議を行う 別提案として項目を立てる。

・「 エコトイレの設置提案」

第1・4、第3分科会と協力して、早急に提案実施を行いたい。

設置者は、「自治体」または「ダム管理者」、施設の維持管理は「地域」という分担を行う形ではどうか。有料での利用システム(1回100円等)を導入して、維持管理費の足しにするなど、現実的な方法を考えたい。

スケジュールとしては、エコトイレを設置した後でないと、 の健康スポーツ企画の実施と連動させたいため、エコトイレの設置を早急に実現したい。21年度に他分科会と合同で設置場所及び管理システムを検討し、設置者候補へ提案に行く。22年度で設置及び維持管理を行い、各種スポーツ企画を実施する。その結果をふまえ、23年度に利用や管理方法などの見直しを行うのはどうか。

【その他、意見・アイデア】について

- ・ニュータイプ福祉の家・湖域構想・水上サッカー場をつくる、という括りではない。「ニュータイプの福祉住宅湖域構想」及び「湖面利用(ボート等)」は別テーマとして記述を。
- ・運動公園周囲の3S(整理、整頓、掃除)は、現在も自治会単位で行っていることなので、そのまま記述しておいて良い。
- ・「季節枚のウォーキング」は、前述「重点的な取り組み」の内容と同じであるので削除。
- ・その他のアイデアは、そのまま良い。
- ・p25~27 3.笑湖ハイツカ活性化への提案について、(1) 「エコトイレ」の配置と管理システムの確立は、【重点的な取り組み】として進める。
- ・(2) 福祉団地の件は、【その他、意見・アイデア】に入れて引き続き検討する。

主な実施主体・支援・参加について

- ・「健康・福祉のマップづくり」は変更なし。
- ・「情報BOXの設置」
 - ・WEBサイトでの情報発信を含む内容として考える。
 - ・分科会は、第5分科会だけでなく各分科会合同で実施したい。
 - ・「自治体」の()をへ。(自治体からの情報提供等が必要)
 - ・「広域的な有志」も参加へ。
 - ・「ダム管理者」をからへ。
- ・「パークゴルフ・グラウンドゴルフの促進」
 - ・「地域」は()からへ。
 - ・「自治体」は()からへ。
 - ・「ダム管理者」はからへ。
- ・「老若男女・万人のためのスポーツ企画」
 - ・「地域」は()からへ。
 - ・「自治体」は()からへ。
- ・「エコトイレの設置提案」
 - ・「地域」は()からへ。(提案と維持管理を行う)
 - ・「自治体」は()からへ。(設置を検討・実施してもらう)
- ・「貸自転車・レンタサイクルの設置提案」
 - ・「地域」はへ。(配置場所や駐輪場について、乗り捨てできるかどうか等の検討と提案等を行う)
 - ・「広域的な有志」はへ。(湖畔の森カフェレストランに設置して欲しいという企画である)
 - ・「自治体」「ダム管理者」はへ。

実施スケジュールについて

- ・「情報BOXの設置」平成21年は赤、平成22年緑へ。
- ・「パークゴルフ・グラウンドゴルフの促進」平成21～22年は赤、平成23年は緑へ。
- ・「老若男女・万人のためのスポーツ企画」平成21年は赤、平成22～23年は青、平成24年は緑へ。
- ・「エコトイレの設置提案」平成21年は赤、平成22～23年は青、平成24年は緑へ。
- ・「貸自転車・レンタサイクルの設置提案」平成21年は赤、平成22年は青、平成23年は緑へ。

その他意見

- ・地域ビジョン最後尾ページの委員名等、内容を再度確認すること。
- ・ウォーキングマップについて、左端のウォーキング情報に、「歩道がない所が多いので車に注意する」旨、及び「自動販売機が少ないので水筒等を持参する」旨を付け加える。
- ・各自自治体単位で歩きやすいルートを設定し、合計距離を表示する 修正対応

【第6分科会】

取り組みメニューについて

- ・ブッポウソウの巣箱設置は今年の2～3月にWL内に5箇所設置したい。
早急に、地域の方々、国土交通省、市、住民で話し合いの場をもち、どこにいつどのように設置するか検討することとなった。
- ・【その他、意見・アイデア】の「ネットによるPR」は、重点的な取り組みの「ウェットランドの広報活動」に含める。

主な実施主体・支援・参加について

- ・地域の方々は全てのメニューに参加する
- ・市については全てのメニューに支援する。そのうち、ブッポウソウの巣箱設置、環境学習、苗作り植樹、バスの駆除については、学校・教育機関に参加してもらう。
- ・国土交通省は全てのメニューに参加・支援する。

実施スケジュールについて

- ・特に意見はない。

その他意見

- ・ブッポウソウがWLに飛来すれば、目玉になる。
- ・ウェットランドの管理については、国、市等の管理場所、地域の方々、WL利用者に草刈り等をお願いする箇所を明確化する必要がある。また、アダプト制度等を活用した、ウェットランド団募集のための看板設置等を行うことも可能である。これらのことについて、地域の方々、国土交通省、市と協議の場を持つこととなった。
- ・福場さん、藤定さんがウェットランド団の新たなメンバーに加わった（現在13名）。
- ・ウェットランド団の今後の人材の募集、活動内容、活動主体については、重点的な取り組みのうち「ウェットランドの広報活動」の中で、同時に検討していくこととなった。

以上